望ましい集団活動の活性化と自主的・実践的な態度を育てる特別活動の在り方

日立市立大久保小学校

１　はじめに

本校は、今年で創立１４９年目を迎える、歴史と伝統ある学校です。児童会のアイディアから生まれたスクールキャラクターの「大久保ミミップ」を中心に、児童主体の児童会活動を行っています。

２　資料

(1) ハイブリット型１年生を迎える会

感染症対策のため、全校が集まる形は避け、６年生児童と運営委員、１年生が体育館へ集まり、２年生から５年生はリモートを通して参加というハイブリット型の集会を企画しました。体育館では、学校に関わるクイズや劇を通して、１年生への歓迎の言葉を伝えました。嬉しそうな１年生の笑顔と、誇らしげな運営委員の顔が印象的でした。

(2) 児童のアイディアを生かした創立記念集会

全校で大久保小学校の誕生日のお祝いをしようと、運営委員を中心に創立記念集会を企画、運営しました。「大久保小学校の歴史について楽しく学べるようにしたい」という運営委員の願いのもと、「大久保ビンゴ」と「ペープサート」を考えました。リモートと対面の良さを生かした活動を行うことができました。

(3) 人権集会と人権ウィーク

思いやりあふれる学校を目指そうというスローガンのもと、人権集会と人権ウィークを企画しました。集会では、人権について啓発するオリジナル映画の制作と物語の読み聞かせを行いました。また、人権ウィークでは、各学級の「人権スローガン」を「人権の花」として掲げ、人権について考える週間を設けました。人権に関する良い姿を見つけ、花の周りに寄せ書きをし、放送を通して全校へ紹介しました。

(4) ICT を活用した委員会活動

運営委員だけでなく、各委員会で ICT を活用した活動を行っています。今年度は、ポスターや文書の作成、アンケートの集計、情報の収集等の活用ができました。また、ポスターを作成する際には、「ここは手書きの方が･･･」「写真を入れたいからタブレットで･･･」等と、ICT の良さと手書きの良さを児童自身に考えさせ、選択させることができました。

３　成果と課題

感染症対策の中、できることを考え、児童のアイディアを生かした主体的な活動を行うことができました。また、ICT の活用を運営委員だけでなく、他の委員会活動にも広げることができました。全てにおいて ICT 化するのではなく、「対面とリモートのハイブリット」や「手書きとデジタルの比較」等、これまでの教育実践と ICT、それぞれの良さを生かした活動を行うことができました。来年度は学級活動やクラブ活動においても委員会活動での成果を生かせるようにしたいと思います。